

# 体験版

「おいっ！ちまろ可愛いでっ、誰のじゃあってんらっ！」



俺の奥さん



になるまでの軌跡

軌跡

ちまろかわね

欠損ゴーシム娘が

五百年間タンメンで休止してな

基本CG 17 枚 差分 450 枚 総枚数 892 枚

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

# 【今作のヒロイン】

## ちょろかわ欠損ゴーレム娘ちゃん

- 処女（軍属で戦闘ばかりだったので、あっち方面は新品）  
戦闘型としての誇りを持っているが、女性的な魅力は  
防御方や支援型に敵わないと最初から諦めている節がある  
鬼神の如き強さを誇り、戦う姿は美しさすら感じるほど  
でもエッチの最中はちょろ可愛いMな子になる
- 性格は大雑把で楽道家、でも面倒見はよく、寂しがり屋  
一人称は「俺」で、言葉遣いがちょっと悪い  
美味しい料理、綺麗な風景、真っ青な海が好き
- シアな女性型ゴーレムの中でも更に希少な戦闘型タイプ  
万全の状態フルパワーで戦うと、とんでもなく強い
- 戦闘中に右目と左腕を欠損したので、救援が来るまで  
スリープモードで待機し続けていたのだが……





※タイトルに欠損とありますが、ライトな表現のみで、流血、リョナ、グロ等の描写は一切ございません  
また、ストーリー後半では欠損部分の修復もありますので、その点をご理解いただいたうえで、お楽しみください

# あらすじ

神、悪魔、精霊にエルフ、ドワーフ、獣人、人間

英雄と魔王、剣と魔法、魔術に妖術、化学に科学

そういったものがごちゃ混ぜで存在する世界……

そんな世界で私（貴方）は今、ダンジョン探索をしていた

私（貴方）はフリーの冒険者として活躍している

……いや、正確には活躍するのを夢見ていると言うべきか

剣も魔法も平均的で、特にこれといった隠しスキルも持っていない  
ルーキーではないが、ベテランの風格を出すには

技量も経験もまだまだ必要……といった現状である

何はともあれ、今日も今日とてダンジョン探索をして、

手ごろな強さの魔物と死なない程度に戦って経験を積みつつ、

お宝を見逃さずゲットして、新しい装備の軍資金にせねば

このダンジョンには未探索な階層がそれなりに残っているらしい  
となると、そこにはきつとお宝があるはずだっ！

そう意気込んだはいいものの、それらしいものは見つからず、

どうしたものかと思ったその時、目の前に宝箱が現れた

念願の宝箱を見つけ、ドキドキしながら開けてみると、よくわかからない円柱状の物体が入っていた

手にとってよく見てみるが、さっぱり用途がわからない  
仄かに緑色に発光しているが、一体なんなのだろう？



???を入手した!

ナンダコレ?  
(´・ω・`)

とりあえず街に戻ってから価値を鑑定してもらおうと考え、  
謎の物体をバックにした瞬間、背後から殺気を感じ、  
恐る恐る振り返ると……そこにはモンスターの群れがいた

うしゅ

うしゅ

マジカヨッ!!

(; ° Д °)

一瞬の判断だった……魔物達が動き出す前に、  
即座に反転し、最初から全速力で逃げに徹することにした  
ベテランなら戦って勝てる、ルーキーなら震え上がって動けない  
勇気と無謀は違う……今の自分では奴らに絶対に勝てない  
中途半端な自分だからこそ、瞬時に判断ができたのだ

カチヨッ!

ニゲルガカチヨッ!  
(;`>ω・)

魔物たちから必死に逃げ回り、どうにかやり過ごせたが、  
ダンジョンの奥の奥に迷い込んでしまったようだ  
この爪の甘さがルーキー以上、ベテラン未満といったところか  
それでも生きていただけ上等と気持ち切り替え、  
慎重にあたりを確認していると、人影があった  
……正確には人ではなく、ゴーレム（機械人形）だった



ゴッ、ゴーレム?  
(;´・ω・)



ゴーレムと聞くと、モンスターのイメージが強いだろう

しかしモンスター以外の、人が作った人造ゴーレムも存在する  
それらは農作業や軽作業などの単純作業で使われているが、  
性能の割りに値段が高く、あまり浸透していないそうだ

だが目の前の人型ゴーレムは、そこらのゴーレムとは格が違う

人と見間違える精巧な作り……素人目で見ても凄みを感じる  
今の科学力では絶対に再現できない技術で作られている

そう、このゴーレムは古代人の超科学によって作られているのだ  
再現不可能な技術で作られた特別な人型ゴーレムは、  
稀に古代遺跡で発掘されることがある

完全な状態で発掘されると、物凄い高額で取引されるらしい  
そんな人型ゴーレム達の中でも特に人気が高いのが

女性タイプのもので、マニアの間ではゴーレム娘と呼ばれている

私（貴方）もギルドで三回ゴーレム娘とすれ違ったことがあるが、  
息を呑むほどの美人だったことを今でもハッキリ覚えている

そんな、とてつもないお宝がこんなところに転がっているようとは  
いよいよ自分にも運が回ってきたということか

しかしパツと見た感じ、目と左腕が損傷しているようだし、  
そもそもまともに動くのかすら怪しい状態だが……ん？

ピピピピ……バッテリーノ存在ヲ検知、バッテリーノ存在ヲ検知  
周囲サーチ開始……バッテリーノ存在確率百パーセント  
バッテリー残量残り七パーセント、省エネモードにて起動開始  
……ンァ、アツ、アー、アアー、声帯機能、調整中  
あーっ、あーっ、よし……おい、そこのお前  
バッテリーを持っているだろう、よーせ



シヤッ、シヤベツタ!!  
(; ° Д °)

そう、それだ……そのバッテリーを俺に渡せ  
お前は民間人か？ 救援部隊の連中はどうした？  
まあいい、外敵との戦闘中は民間人にも  
協力義務が発生するからな……ほら、はやく渡せ



バッテリーって  
コレノコト？





おっし民間人、主戦場はどこかわかるか？

ああ、お前はついて来なくていいからな、場所だけ教える

はあ？戦争も戦闘もなにも起ってないだど？

そんなわけあるか、現にこうしてセンサーに反応があるぞ？

ほれ、あっちのほうから……五体くらい向かってきている

おっし民間人

ナニトタカウキナノ？

(;-ω-)

△っおおおおおおっ

ほれ来たぞ……って、何だありや、見慣れない敵だなあ  
新手の生物兵器が何かか？ お前のこと狙ってるみたいだな  
……まあいや、バッテリーを持ってきてくれた礼だ  
ニコは俺にまかせておけって！

ギャー、ヤツラダーツ!!  
(; > D <)

よっしゃ、俺様の本気を見せてやるっじゃないかっ！

アツという間に粉々に切り刻んで……おん？

警告、警告、左腕カラエネルギーノ流出確認

頭部メインカメラカラモ流出確認

チツ、なんだよ……出力を下げないとだめってか？

おん？

ギョク

1V  
ツチ  
1V  
ツチ

ダッ、ダイジョウブ？

(;・D・)

あ〜っと、「これくらいの出力ならどうだ？」

確認中……左腕、頭部カラノエネルギー流出確認デキズ  
現状ノ出力デアレバ本機ヘノ負担軽微

攻撃力は下がっちゃったが、手数でカバーすればいけるだろ  
よおし、お前は陰に隠れてな……はあ？ 逃げるだとお？

「冒険者は冒険してナンボだが、引き際も重要」って、  
俺を誰だと思ってやがる、泣く子も黙る戦闘型様だぞっ！

めざしめ

ブネミ

ニツ、ニゲヨウツ!!

(;´・ω・)



△ぎあああああ



へへん、どうよ俺様の實力は？

低出力でも手数を増やせば、あの程度の生物兵器、楽勝よ  
まっ、久しぶりの運動相手としては悪くなかったかな  
ん？ おっい、どうした？ ドドツッて魂抜けちゃったのか？



キュン♡

(\*° Д°)

彼女は物凄く強く……そして美しかった

自分が敵わないと即断し、尻尾を巻いて逃げた魔物達をダンスを踊るかのようになり、華麗にバツバツと切り伏せていくまるで神話の戦女神の戦いを見ているかのような気分だったその姿に畏敬の念を感じざるをえなかった

それと同時に彼女に恋をした……そう、一目惚れだ

まさか自分にこんなロマンティックな感情があるとはビックリだが必然かもしれない、命を助けてもらった相手が抜群に強く、物凄く美しく、そして今はこんな可愛らしく笑うのだから

ああ、女性にこんなにも強く心奪われる日がこようとはどうかかしてお近づきになれないものか？

そもそもゴーレム娘を口説くなんてことできるのだろうか？

そんな私（貴方）の葛藤を知るはずも無い彼女は

地上に出たいと言ってきた

先ほどの魔物達を感知したセンサーを使えば、

楽に地上に出れそうなものだが、生憎あれは精度が狭いらしい地形把握能力は人間とほぼ同じレベルなのだそうだ

なにせよ、こんなところに長い理由がないのは同感なので、彼女を連れて地上を目指すことにした

ふいふ、やっと地上に出れたか……日差しが眩しいぜ  
なんだか随分長いことあの洞窟の中にいたような気がするわ  
んう……気のせいかな、地形も変わってしまったような？  
うむ、ちよつと衛星を通じて、マザーに連絡をとってみるか

ふいふ

エイセイ？  
マザー？  
(´・ω・`)



なあ、これからちよつとマザーと通信しようと思うんだ  
それで、通信中は無防備になっちまう……悪いんだが、  
少しの間、周囲の警戒を頼めるか？  
何かあったら、肩を揺すって合図をしてくれ  
ありがとう、助かる……頼んだぜ

ワッ、ワカタツ!  
(;´・ω・)



ピピピ、マザーへノ接続ヲ開始……………信号ヲ発信、返信待機中

待機中……………待機中……………待機中……………返信ヲ確認

—D番号 359102515-006、情報ノ共有ヲ申請スル

マザーノ対応待チ……………返信確認

マザーカラノ情報データ送信ヲ確認……………受信中、受信

キヌキヌキ

カチカチ

シュウイケイカイチュウ!!  
(´・ω・´)

マザーカラノ情報データ、受信完了……情報データ、解析中

解析中……解析中……解析完了

そつ、そんな……嘘だろ、部隊も、国も全部もうないのか？

嘘だ、だってそれじゃあ俺はなんのために……くそつ！

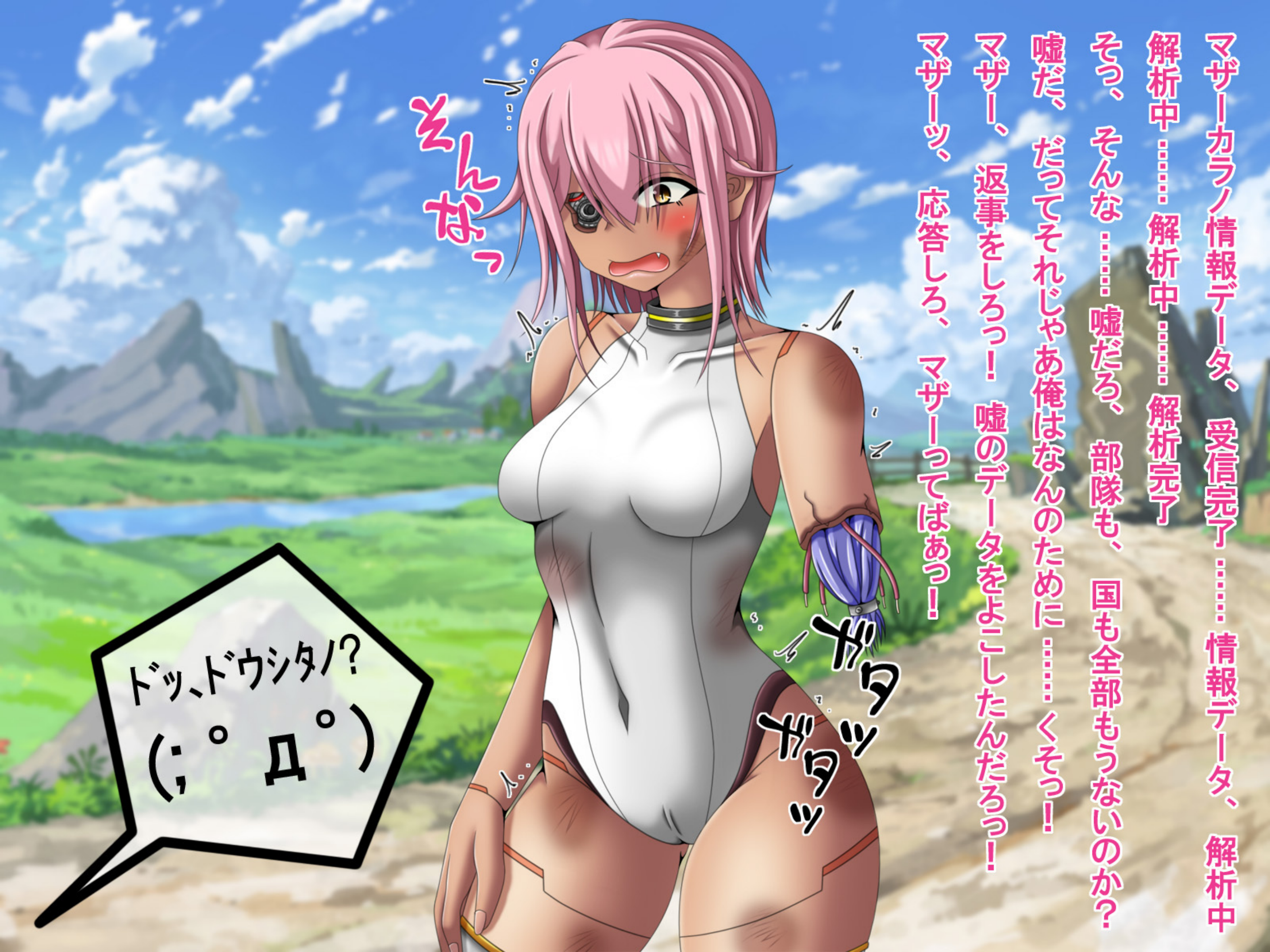
マザー、返事をしろっ！嘘のデータをよこしたんだろっ！

マザーツ、応答しろ、マザーってばあっ！

ガタガタ  
ガタガタ

えんぱっ

ドゥ、ドウシタノ？  
(;°Д°)



彼女に頼まれ周囲を警戒していたところ、突如空を睨みつけ、何度も「嘘だ、嘘だっ！」と大声で叫び始めた

その迫力は凄まじく、私（貴方）は見守る事しかできなかつたしばらくすると、ペタンとその場に座り込み、生気の抜けた声で私（貴方）に詳しい事情を説明してくれることとなった

マザーというのは、ゴーレム達の司令塔のような人？ とのこと空高くにいてゴーレム達とテレパシー的なもので会話できるらしいマザーが言うには、彼女は五百年ほどあのダンジョンにいたそうだ戦闘で目と腕を損傷し、バッテリーの残量も少なかった彼女は、ほとんどの機能を停止して、救援が来るのを待っていたしかし救援は結局来ず、所属部隊は全滅し、

国自体も他の国との争いで消滅してしまったそうだ

そして五百年後の今日、私（貴方）がたまたま現れた

古代遺跡から発掘されるゴーレムの中には彼女と同じような証言をする機体があり、五百年ほど前に古代文明同士の大战があつたことが、歴史学者の中では共通認識とされている彼女もおそらく、その戦争の生き残りになるのだろう

そしてマザーは最後にこう伝えたそうだ

『貴女はもう自由だ、好きに生き、幸せになりなさい』と



皆……いなくなっちゃったんだよなあ

まったく……マザーも随分と無責任なこと言う

仲間も国も存在しない五百年後の世界で好きに生きるって

俺はこれから一体どうすればいいんだか

「元気出して」って言われてもなあ……はあ

はあ

ゲンキダシテ  
(;・ω・)

どうしたもんかねえ、いつその事またダンジョンに戻って、  
この世の終わりまで機能停止して過すかな……なんてな  
あん？ なんだよその顔、 名案があるって？  
はいはい、何でもいいから言ってみてくれ  
今のこの気分を少しでもマシンにできる提案なら、 大歓迎だ

あん？

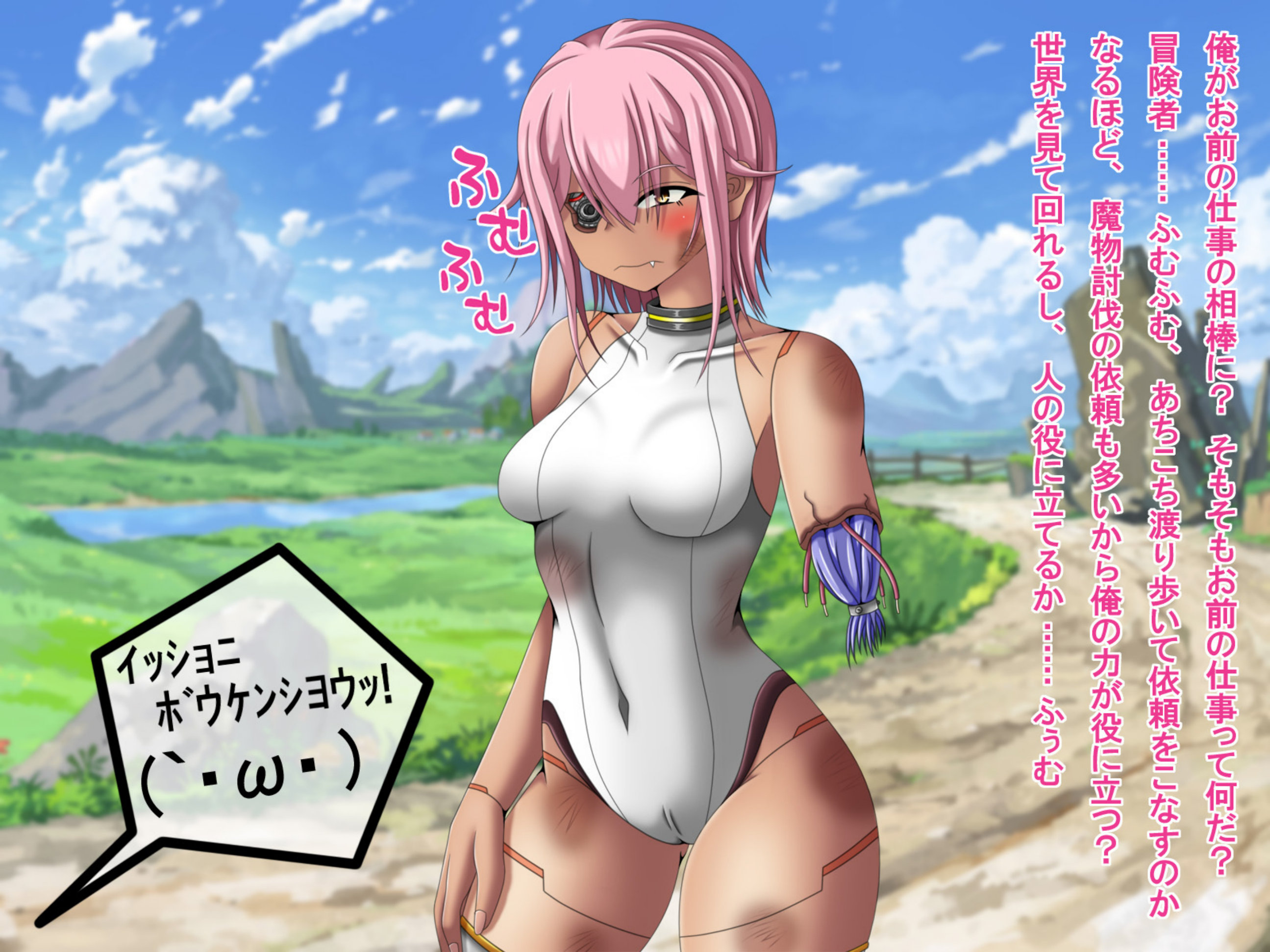
ヒラメイタツ!!

(\*°▽°)

俺がお前の仕事の相棒に？　そもそもお前の仕事って何だ？  
冒険者……ふむふむ、あちこち渡り歩いて依頼をこなすのか  
なるほど、魔物討伐の依頼も多いから俺の力が役に立つ？  
世界を見て回れるし、人の役に立てるか……ふうむ

ふむふむ

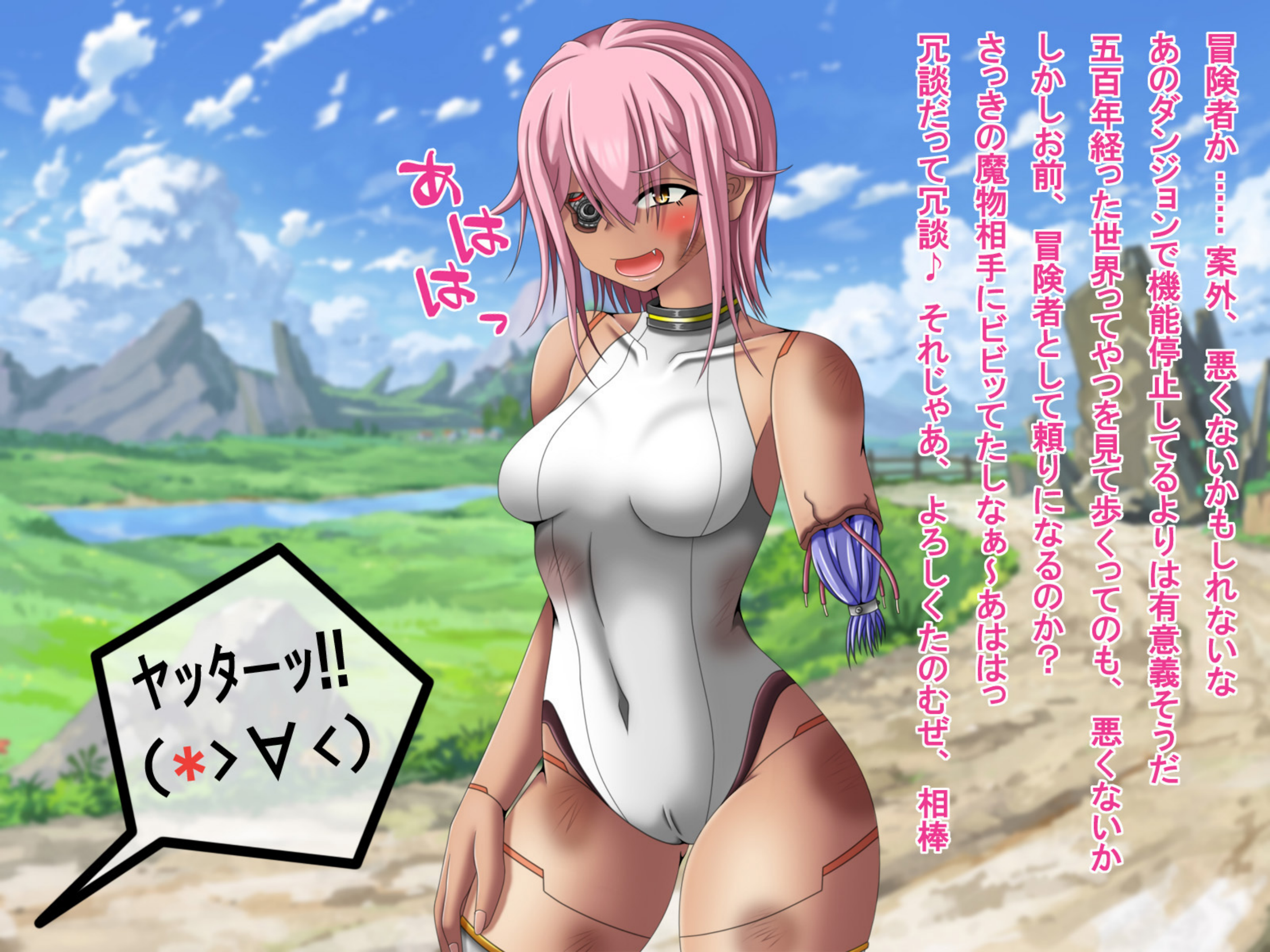
イッショニ  
ボウケンシヨウツ!  
(`・ω・`)



冒険者か……案外、悪くないかもしれないな  
あのダンジョンで機能停止してるよりは有意義そうだし  
五百年経った世界ってやつを見て歩くってのも、悪くないか  
しかしお前、冒険者として頼りになるのか？  
さっきの魔物相手にビビッてたしなあ、あはははっ  
冗談だって冗談♪ それじゃあ、よろしくたのむぜ、  
相棒

あはははっ

ヤッターツ!!  
( \* > △ < )



冒険者か……案外、悪くないかもしれないな  
あのダンジョンで機能停止してるよりは有意義そうだし  
五百年経った世界ってやつを見て歩くってのも、悪くないか  
しかしお前、冒険者として頼りになるのか？  
さっきの魔物相手にビビッてたしなあ、あはははっ  
冗談だって冗談♪ それじゃあ、よろしくたのむぜ、  
相棒

あはははっ

私（貴方）の提案は彼女に無事受け入れられ、  
こうしてコンビを組んでの冒険者生活が  
スタートすることになったのだった

（く）  
ツ!!  
△

古代人が作った人型ゴーレムの彼女とダンジョン内で出会い、色々あつて冒険者の相棒となつてから二週間が経つた自身機能が停止している五百年もの間に、

仲間や国がなくなつてしまったことで、最初こそ落ち込んだが、私（貴方）の提案を受け、彼女は新たな世界と

冒険者活動を満喫しようという気持ちで切り替えたのだつた

そんな彼女の冒険者としての働きぶりはというと、

討伐系の仕事は見事なもので、桁違いの戦闘能力を存分に発揮し、バリバリ依頼をこなしているが、

探し物や軽作業などの雑務系の仕事は苦手なようだ

曰く、「俺は戦闘型ゴーレムだから、仕方ないだろ」とのこと

充実した生活を送っている私（貴方）だが、問題が二つある一つ目は未だに彼女への好意を伝えられずにいること

機会をうかがつてはいるのだが、なかなか切り出せずにいる

二つめは彼女に一目惚れしてからというもの、

自慰行為や夜の街に出て性欲を発散する気がなくなつたこと目の前に惚れた女性がいるのに、どうしてそんなことできょうか……とはいえ、溜まるものは溜まるので、正直悶々としている

こちらの葛藤を知る由もない彼女は、依頼を終えた満足感と開放感からか、無防備な姿を私（貴方）に見せ付けるのだつた

どうだったよ、今日の俺の活躍はさあ、へへん  
こっ、燃える手刀でスパスパと魔物を切り伏せてさあ  
そうだろう、そうだろう♪ もっと褒め称えよ  
いやあ、依頼主にも感謝されまくりで、  
報酬もはずんでもらったんだろ？ 気分がいいなあ

へへんっ

ダイカツヤクダッタネ!

(\*^ω^)

しかし今日の魔物達はちよつと厄介だったな  
チヨロチヨロ逃げ回るから、追いかけるのに苦労したぜ  
おかげでマントやズボンが結構よごれちまったな  
よつと……ふいふい、悪いんだが、明日洗濯してくれよ  
あん？ なんだ、目の前で急に脱ぐなって？

おん  
おん

しゅるっ  
しゅるっ

メノマエテヌガナイノツ!

( \* > D < )



そんな細かいことでイチイチ目くじらたてるなって

お前はマザーかってんだよ、あはは

ははあゝん、さてはお前……ちよつと失礼するぞ

生体スキャン開始……スキャン中、スキャン中

スキャン終了……対象ノ状態、発情中ト確認

おきん

ははあゝん

ナツ、ナンダヨオ  
(;´・ω・)



はっはっはっ、すまんすまん……悪かったって  
だけどやっぱりお前、発情してるからカリカリしてたんだな  
溜まってるってやっだろ？ だったら我慢せずに発散して……って  
今日の報酬、余計にもらったんだから、それ使って……いい  
お前には色々世話になってるわけだし、気にすんなよ

はっはっはっ

スキャンスナッテ!  
(; > D <)



『二人で稼いだ金をそんな風に使いたくはない』って、俺は別にそんな……お前のことを思って

むっ……確かに今のは俺が軽率だったな……すまん

おっ、おい……聞いているのか？ 無視するなって

えっ、大事な話があるって……なっ、なんだよ急に？



あせっ

あせっ

せっ

ヒョットシテ  
イマガコウキ？  
( ° Д ° )ハッ!

なんだよ怖い顔して……ちゃんと謝っただろ？

えっ、「街へは絶対行かない」って、そんなムキになるなよ

「行かない理由がちゃんとある」……理由なんてあるのか？

「お前に惚れてるから、他の女を抱く気なんてない」

はっ、はああああああつ？

なっ……何言ってるんだよ、お前はっ！

はあ……  
はあつ？

ビクッ  
ツ

オマエニ  
ホレテルンダヨツ!!  
(\*>D<)

勝手にスキヤンしたのと、女を抱いて来いって言った仕返しに、  
ふっ、ふざけてそんな」と言ってるんだろ？

「目惚れだった」「マジで好き」「正直辛抱たまらん」とって、  
いっ、いかげんにしろよ、俺は泣く子も黙る戦闘型様だぞ？  
万能型や防御型の連中ならいざしらず、俺みたいな戦闘狂の  
ゴーレムに惚れるだなんてそんな訳……うっう



ヒトメホレデシタツ!  
(\*´ω`)

「信じられないなら、嘘判定スキャンでも何でもしてぐれ」  
俺にはそんな機能付いてねえよ、万能型じゃあるまいっ！  
「ほんっ……たっ、確かに今回の件は俺が悪い  
悪いから……責任をとって、えっと……その、そっっー！  
手っ！手でしてやるから、それで今日のところは勘弁しろ

いほんっ

ドキッ  
ドキッ

マジデ？  
(\*°Д°)



いつ、「応忠告しておくが、俺は万能型や防御型のようには、  
器用じゃないから、どうなっても知らないからなっ！」

「惚れた女にしてもらえるなら、何が起きようかと本望だ」  
あううううううう、 お前……そんなキャラだったか？

あううううううう

ワクワクッ  
(\*。▽。)



ほう、ほら……そのベッドに腰掛けて、出すもの出して待ってる  
えっと、前戯用プログラムはどのフォルダに……というか、そもそも俺、  
一度もそんなプログラム使ったことないんだが……って、ひうっ！

ひうっ

フッ

ビクッ

ギョッ  
ギョッ  
ギョッ

ぼんっ

タイヨロデス  
(\*-ω-)

(はあ？ 嘘だろ、なんだこれ……資料映像で見たのより、  
なんかずっと大きくて、生々しいんだが……个体差ってやつなのか?)



はあっ? 『無理はしないで行んだよ』って、なんだよそれっ!!  
ビッ、ゴビるわけないだろ! 俺は怖いもの知らずの戦闘型様だぞっ!!  
『でも今、』 『びっ』 っ…… 『言っていないっ!』

はあっ?!

ムクムク

ムリシナイデネ  
(´・ω・)

ちよつと前戯プログラムを探してたら、違うフォルダを開いて焦っただけだっ!  
お前のそれが大きくてビックリしたとか、そういうんじゃないんだからなっ!

(なんて強がってはみたものの……ええ、マジでこれ大きくないか？  
俺の資料が古いのか？ 五百年寝てる間に、男性のお○ん○んのサイズ、  
バージョンアップされてるとか、何かしらの変化があったんじゃないか？)

せうっ

どっせ、どっせ

(でも、マザーから定期的に送られてくる更新データにはそんな情報なかったし、  
こいつのが単純にデカイってだけの話か……むうっ、感情回路が、なんか重いなあ)



俺、本当に不器用だから加減とか、間違える可能性があるから、少しでも痛かったら、我慢なんてしないですぐに言えよ

「大丈夫、不器用なのは知ってる」って、なんだお前、握りつぶすぞう！

うわあっ

わっ

ブクツツ  
ブクツツ

おっと、そうだったな……今回のこれは詫びを込めてるんだっただか

そう、それじゃあ、気を取り直して触るからな……うわあっ、なんだこれ、熱い



「右腕出力、上限ヲ五パーセントニ設定、前戯用プログラム正常作動中」  
だっ、大丈夫だよな？ 軽く触ってるだけだし、痛くないよな？  
よしよしよし、今のところ順調にできてるみたいだな、俺だってやれるんだっ！

おっ  
おっ

ふに  
ふに

クク  
クク  
クク

おっ、 おおっ……なんだか不思議な感触だ

凄いな、データとしては知っていたが、本当に硬いんだ

これで中に骨があるわけじゃないんだから……生命の神秘ってやつか

そっ、それじゃあ動かすからな……いいか、何度も言うが、  
痛かったら、我慢なんてしないで、すぐに言っただぞ？

んしょっ

しゅっ  
しゅっ  
しゅっ

ブル  
ッ

よし、じゃあ始めるぞ……えっと、プログラムによると、  
ふむふむ

カリの部分……「この出っ張りか、」「こを指の腹で優しく刺激するんだな

んしょ、んしょっ……どうだ、「こんな感じであってるか？

よいしょっ、うんしょっ……はあっ、あっ、んしょっ

「前戯用プログラム、正常二作動中……対象二異常無し」

はあっ

（うん、俺の簡易センサーだと、本当に気持ちよくできてるのか、

判断がつきにくいな……万能型のやつが持ってた高性能生態スキャンがあれば、

こいつが今どんな状態か、一瞬でわかったんだけどなあ）

スリッ  
スリッ

ぐっ  
ぐっ



優しくっ、力をいれすぎずにと……んっ、ひゅっ！  
ちよっ、ええっ？ だっ、大丈夫かよ、今ビクって……ビクって動いたぞ？  
いっ、痛かったのか？ 俺、カいれすぎちまったか？

えっ、違う？ むしろ逆で気持ちよくて反応した？

〔前戯プログラムニ異常無し、対象者ハ依然発情中〕……ほっ、本当だ  
プログラムも異常ないし、依然発情中って診断も出てる



「そんなにおっかなびつくり触らなくても大丈夫だよ」

そうはいうがな、こっちは相手を殲滅させるのが専門のゴーレムなんだぞ？

それで触ってるのがお前の急所なわけで……緊張しないほうが無理ってもんだろ

せうっ

ブル  
ブル

こっちは高性能な生体スキャンもないから、気持ちよくできてるのかもわからんし

「プログラムやスキャンに頼らず、相手のことをよく見る事が大切だと思うよ」

……つまり、言葉や表情でお前が感じてるか判断しろってのか？ 難しすぎるだろ



「男は単純な生き物だから、惚れた女にし」かれれば、即たらしめない顔になるよ」  
なんだよそれ、全然アドバイスになってないぞ？んうう、さっきと同じくらいの  
力加減でまたし」けばいいのか？んしょう、んしょう



えっ、今のお前の表情か？目がキラキラしてて、口は少し開いてる  
あとは息が少し荒いな……そうか、これがお前の感じ始めてる時の顔なわけだな  
ふむふむ、これを参考にすればいいのか、なるほど

んうっ……えっ、しごく強さとスピードを少し上げるのか？

「右腕出力、上限ラセパーセント」再設定」……これくらいで、どうだ？

あっ、さっきみたいにまたビクビクツッて痙攣してるぞ

お前の呼吸も少し荒くなってきた……感じ始めたってことなのか？

そう、そうか……お前、今気持ちよくなってるんだな

しゅわんしゅわん

ぐんぐん



よししょう、よししょうと……このままの力加減で続けて、いいんだよな？  
ああ、俺のほうは大丈夫だ、何も問題はないぞ  
おっ……おっ！おい、先端から透明な汁が出てきたぞっ！

おっおっ

コス  
ツッ  
コス  
ツッ

とんぱん

これってカウパー液ってやつじゃないのか？ えっ、言い方が医学的で興奮しない？

「我慢汁って言うほうがエッチで盛り上がるから訂正して」ってなんだそりゃ？

このカウパー……我慢汁が出たって」とは、上手に「」けてるって「」とだよな？

さっきより呼吸が荒くなってきたな……そう、そんなに気持ちいいのか？  
確かに男っていいのは、思ってた以上にわかりやすいのかもな

「相手が惚れた女だからどう？」とを忘れないで「って、またそんな」と言っ

おら、おらおらっ！ 減らず口たたいてないで、俺の手コキで感じてしまえよ

おっ！ 今の声はなんだ？ 気持ちよすぎて我慢できずに喘いじやったのか？

へっへっへっ、わかってくると結構楽しいな、これ♡



んしょっ、よいしょっ……はあっ、ふうっ

お前のおんおん、ドクドクツて、凄い脈打ってるぞ

我慢汁も溢れてきて……なんか大変なことになってきている

んしょっ

はあっ

ジッ  
ジッ  
ジッ

ズ  
ズ  
ズ

えっ、もう少し速くして欲しいって……ほっ、本当に大丈夫なのか？

あっ、ああ……それじゃあもう少しだけ出力を上げるぞ

〔右腕上限出力、上限ラウパーセントニ再設定〕

おっ、おい……本当に大丈夫か？ 一旦休憩しても……えっ、やめないでって、  
だけどお前……そう、そんなに俺の手コキ、気持ちいいのか？  
そう、そうか……ああ、わかった、このまま続けてやる



（一見すると苦しそうなのに、もっとして欲しいって懇願されてしまった  
喘ぎ声、もう我慢するきもないみたいだ……あっ、また「気持ちいい」って言った  
うっっ、感じてるといつの顔見ると……感情回路がおかしくなりそうだ）

ふっっ、 はあっ……んっ、んっ、んっ、 あっっっ

我慢汁がびちやびちや飛び跳ねて……すっ、 凄い光景だな



(スキヤンを使わなくてもわかるぞ……もう少して「いつは射精しちゃうんだ  
俺が……戦う為に造られた戦闘型である」の俺が、男を絶頂へと導くのか  
五百年も機能停止していると、世界は色々変わるものなんだなあ)

ギョッ  
ギョッ

はあっ、ふっふっ……おっ、お前、もう少いでいきそうなんだろ？

へっ、高性能スキヤンの無い俺でも流石にわかるさ

はいはい、ソッコンの俺に手コキされてるから、こんな簡単に簡単なんだよな？

キムン♡

へっへっ

ズンズンズン

ズンズンズン

いくところ、バッチリ見てやるから、覚悟しろよう！

当然だろ、俺の初の手コキでお前をイカせる記念すべき瞬間だからな

ほれ、ほれほれ♡我慢なんてしないで、さっさと射精しろって♡



んしよっ、よいしよっ……これが射精直前のお○ん○んなんだな

真っ赤に充血して、とっっても熱い……はあっ、凄いつ♡

えっ、もう限界なのか？いいぞ、「このまま出すところを見せてくれ

ゴクッ

んやんっ

んやんっ

んやんっ

んやんっ

出せ、出せ出せ♡俺の手コキでたくさん射精してしまえっ♡

ひやんっ、ひやんっ、ひやんっ、すげえっ、すげえっ、熱いの吐てるっ

うわあっ……データでは知っていたが、まさかここまで熱いとは、ゴクリッ♡  
おっと、射精した後も、尿道に残ってる精液全て出しきったほうがいいんだよね？  
ああ、それもデータにのってたからな……んしよっ、よいしよっ

うおっ、まだビクビクって痙攣して、精液出してる

すっ、凄いなこの光景……この生々しさはデータにはなかったぞ、んうっ♡

んうっ

ぬっ、ぬっ、ぬっ

んうっ、んうっ、んうっ

ん

ん

ん

ん

精液、全部出し切れたか？ そうか、ならよかった……ふうっ  
それにしても、凄い出したな、平均男性の射精量より多いぞ？

「惚れた女にされたから、たくさん出て当然っ！」って、まだ言うかお前は

はあっ

ワキチュッ  
ワキチュッ

ふうっ

ドクドク  
ドクドク

スンスンッ、少し臭い……ねばねばドロドロで、なんだかいやらしい感じもする

これが精液か……はあっ、「このなかにお前の遺伝情報がつまっているわけだな

こいつを卵子と組み合わせると、子供ができる……か

はふっっ……「っ、これで今回の件の詫びは済んだよな？」

ほら、さっさとお〇ん〇んしまえて、風邪ひいてもしらんぞ

えっ、告白の返事？ そっ、そんなのすぐに答えられるわけないだろう

ア  
ッ

は  
ふ  
っ

し  
な  
し  
な

ソナー  
(´;ω;)

そもそも、俺とお前は知り合ってまだ二週間程度しか経っていないんだ

お前は一目惚れって理由でいいかもだが、俺はお前を好きになる理由はないぞ

……というわけで、告白の返事は保留だ、保留っ！

まっ、まあ……お前には色々世話になっているわけだし、  
もしまた溜まりに溜まって、辛くなった時は……きよう、今日みたいに、  
手でしてやってもいいけどな……俺も、ちよつと楽しかったしよ



おいっ！なんでまたおんおん大きくしてるんだよう？  
「まだまだ溜まってるので、助けて欲しいです」って、調子にのるなっ！  
俺はそんなに安いゴーレムじゃねえのっ！まだしたけりや自分で処理しろっ！

モウイッカイ  
シテホシイナア  
(\*-ω-)

おん  
おん  
おん

まっ、まあ……お前には色々世話になっているわけだし、  
もしまた溜まりに溜まって、辛くなった時は……きよう、今日みたいに、  
手でしてやってもいいけどな……俺も、ちよつと楽しかったしよ

おっ

じとっ

せく  
せく

モウイッカイ  
シテホシイナア  
(\* - ω -)

おいっ！ なんでまた  
「まだまだ溜まってる  
俺はそんなに安いゴ

こうして私（貴方）と彼女の仲は少しだけ進展し、  
仕事の相棒で、時々エツチなこととしてくれる関係に発展した  
ちなみにこの後、土下座して一生懸命頼み込んだら、  
何だかんだでもう一回手コキしてくれた……ちよろ可愛い

ダンジョンの奥で機能停止していたゴーレム娘と知り合い、

何だかんだで仕事の相棒になってから二ヶ月が経とうとしていた

私（貴方）たちは冒険者として日々依頼をこなしながら、

この街を出る為のお金をコツコツと貯めていた

五百年間も眠っていた彼女に、今の世界を見せてあげたい

様々な人や文化に触れ、色々な経験をして欲しいので、

お金をある程度貯めたら、新しい街へ移動する予定なのだ

幸い彼女の抜群の戦闘スキルのおかげで、高額討伐系の依頼を

いい感じにこなせており、割と早く目標金額が貯まるだろう

とはいえ、彼女に頼りきりにならないよう、私（貴方）は

自身にできる限りの力を発揮し、サポート役に徹している

そんな私（貴方）達の関係は仕事上の相棒だけでなく、

溜まった性欲の処理を彼女にしてもらえる間柄に発展していた

彼女も行為自体は結構気に入ってくれているようで、

お願いしたら、割とノリノリで相手をしてきている

とはいえ、まだ手コキ止まりで、キスやセックスはしていない

そろそろもう一段階上の関係になりたいなと思いつつ、

今宵も彼女に性欲の処理をお願いするのであった





まあ、お前は本当によくやってくれてると思うぞ  
今日の囮役だって、あれがあったからこそ、

俺は攻撃に集中して、安定して討伐が出来たわけだしな  
お前の補助能力は万能型の連中に近いものを感じるよ

うううう……わっ、わかった、今日は特別だからな？

がんばったお前への「褒美ってこと」で、この体勢でしてやる  
(顔同士が近くて……「いつの吐息を感じる

くそっ……感情回路に、もう熱が溜まってきちゃった)

ううう  
ズカズカズカ

ギンギン



はあ、よしっ！それじゃあ、「この俺様が今日もまた、お前のおんおんの面倒をみてやるから、感謝するんだぞ？」

おい、わかってんのか、「うっー」の、「うっー」

ゴク  
ゴク  
ゴク  
ゴク  
ゴク

っんっんっん

ハハハハハハ

「指でっんっんされるのも、「そばゆくて気持ちいい」

まったく、お前は何されても喜ぶやつだなあ

バカやってないで始めるからな……最初の力加減は

「右腕出力、上限ヲ六パーセントニ設定」よし、始めるぞ

よつと……最初は出力低めで、優しく触る感じつと  
んじよ、よいしよ、どうだ、痛くはないだろ？

しばらくは……んじよ、これくらいの力加減でしてやるからな

よしよし  
いいわ

スリッ  
スリッ

ズ  
ズ  
ズ

大丈夫だとは思いますが、違和感を感じたら、すぐ言えよ  
んっ……しよ、うっ、よいしよ、んじよ



「すっかり手馴れたものだね」って、誰のせいだよ、誰のっ！  
お前とききたら、二日に一回は私に処理させやがってえ〜  
場合によっては毎日してやった時もあったよなあ？

まだっ

しゃしゃ

ぶるぶる

それだけ頻繁に相手させられてたら、

流石の俺でも手馴れるってもんだろ

「それだけ君が魅力的ってことだよ」って、またお前は〜

まったく、恥ずかしいセリフをペラペラしゃべりやがってからに

そんな余裕ぶっつていられるのも、今のうちだけで

〔右腕出力、上限ラ九パーセント二設定〕

ほれほれ、一段階出力を上げてやったぞ、どうだあ？

ほれっ  
ほれっ

ジコ  
ジコ  
ジコ  
ズ  
ズ  
ズ

おお、気持ちいいのか？ 気持ちいいんだよなあ？

へっ、びくびくっておおんおん、痙攣してるじゃないか

ほれほれ、ズロズロ、ズロズロ、<<っ♡

あれれえ？ どうしたんだ、急に静かになつてえ  
さっきまでの減らず口はどーいったんだらうなあ？

フッフッフ

コス  
ツ  
コス  
ツ

ガ  
ツ  
ツ  
ガ  
ツ  
ツ

あゝあ、我慢汁も出てきちゃったな

心配しなくても、手を止めたりはしないから、  
思う存分感じてくれて、いいんだぞ♡

なんだよ、本格的に感じ始めちゃったのかあ？

エロい喘ぎ声なんて出しやがって……はあっ♡

「体が密着してるから、いつも異常に興奮する」

おいおい、お前が提案してきたことなんだぞおう？

はあっ♡

わぁん♡

すり♡

ズク♡

（体を密着させてっつの、確かに最初は凄く恥ずかしかったが、

「ううして」「うう」の感じてる顔、間近で見れるのはいいなあ

切なそうな顔しやがって……感情回路が暴走しそうだぜ♡

「っそり」の顔撮影して、重要フォルダに保存しておくか♡）

んしょう、ようしょう……ふふっ、我慢汁で

手がベトベトになってきたぞ、だいぶ気持ちいいみたいだな  
今日も「のまま」……たくさん「い」て、はあっ♡  
「ゴューゴュー」射精させてやるから、覚悟しろよ♡

ゴク  
ゴク  
ゴク

ええっ!!

ゴキ  
ゴキ  
ゴキ

んっ、なんだ……どうした? どこか違和感があったか?

えっ、「褒美の追加が欲しいって……欲張りなやつだなあ」  
ちなみに、何が欲しいっていうんだ?

ええっ! キツ、キスがしたいって……俺とか?



おっ、俺とキスしたいって、本気で言ってるのかよ？

だって俺は戦闘型ゴーレムだし、そんなのとキスする気か？

「戦闘型ゴーレムにキスしちゃいけない法律があるの？」

いっ、いや……そんなのないとは思っけど……うっ

ブルッ

あうっ

もじり

「戦闘型うんぬんじゃなく、君が俺とキスしたいか、

したくないか、YESかNOで答えてくれ」って、あうっ

なっ、なんで急に積極的になるんだよお

さっきまで俺の手コキでひっひっ喘いでたくせにっ

追加の「褒美の提案を拒否する権利は……ないのか？」  
「拒否権を行使されたら、悲しくて俺泣いちゃう」  
「なんだよそれ、子供じゃあるまいし……くすくすっ  
どう、どうしても俺とキス……したいのか？」

するっ♡

そわっ  
そわっ

んんん  
んんん

「俺は初めて会った時から、ずっとキスしたいって思ってたよ？」

またそんな」と言っ……ばかっ♡

とっ、特別だぞ？ 特別に特別で……キス、してやる

……うん、するっ♡キス、お前とキスする♡



ちゅっ ちゅぱっ……はふっっ♡キス、しちやったな♡  
んうっ、唇同士が触れただけなのに、感情機能に大量の情報が  
流れてきて、パンクするかと思ったぞ……キスって凄い♡  
えっ、今のは挨拶代わりの軽いキスで、次は深い愛情を示す  
キスをしたって……ディープキスのことを言ってるのか？



データとしては知っているが、ディープキスか……ゴクリッ  
今のキスで凄い情報量だったのに、さらにその上のキスとなると  
……いっ、いや、別にビビッてないしっ！全然余裕だしっ！  
よっ、よっ、ディープキスするぞっ！

しゅっ、舌と舌を絡ませればいいんだよな？ 楽勝だって

……よしっ、それじゃあするぞ？ ちゅっ、ちゅぶっ♡

あむっっっ……んっっーっっ、ペロッ、ペるペるっ♡

んっ、んっ♡ はむはむっっ♡

ちゅっ♡

あむっ♡

んっ♡

あむっ♡

ブルブル

ブルブル♡

はむっっ、レロレロッ、すっっ♡ 頭の回路が沸騰しそうだった

【警告】 頭部ニ高熱ガ蓄積…… 強制放熱ノ必要ヲ認メル

げっ、やばっ！ ちよっ、ちよっと離れろっ！

悪いっ、熱が溜まりすぎたみたいでっ……ちよつと放熱するぞ

右側頭部、放熱口解放……放熱中……放熱中

頭部内温度、僅カニ低下……更ナル放熱ノ必要性ヲ認メル

ああ、くそっ……まだ放熱しきれないのか

わわっ

んっっ

やジュウウツツ

ちよつと右手をどかしてくれ、肩と腰からも熱を出すから

右肩、右腰部カラノ放熱ヲ開始……放熱中……放熱中

頭部内温度、平常値ニ低下……放熱終了

はふうっ、あつ、焦ったあ

ビックリさせて悪かったな……ああ、もう大丈夫だ  
ちよつ、ちよつと頭に熱が「もり過ぎたみたいでな、ははっ  
「それって、ディープキスで興奮しすぎたせい？」

げっ、原因は何でもいいだろうっ！深く聞くな、ばかっ

せ  
ら  
っ  
っ

も  
じ  
っ  
っ

ん  
ん  
ん  
ん

「俺も君とディープキスできて、すっごく興奮したよ？」

べっ、別にそんなこと誰も聞いてないだろ……むっっ

（初めてのキスと、ディープキスの体験記録……）

重要フォルダ内に最上級ファイルとして保管しておっっ

そっ、それより……「いつの面倒をみてやらないとな  
お前がキスだなんだと言いだすから、  
ほったらかしになってたわけだし……ほれ、  
手コキ再開するぞ  
力加減は……さっきと同じで大丈夫だよな？」

♡♡♡♡♡

にぎにぎにぎにぎ

ズグッ  
ズグッ  
ズグッ

はあくお〇ん〇ん、熱々なままだな  
へっ♡♡お預けくらってて、我慢の限界だよな？  
たっぷりし〜いてやるから、覚悟するんだぞ♡♡



ほれほれっ、 ジュジュッ♡ ジュジュッ♡

もうお預けなんてしないから安心して、  
どンドン気持ちよくなるんだぞっ

あっ♡ あっ♡

マチュッ  
マチュッ

グッ  
グッ

あゝあっ♡ 我慢汁、こんなに飛び散らせちゃって

そんなに俺の手コキ気持ちいいの？

へっ♡ 一生懸命首を縦に振っちゃって……正直なやつだな♡

んじょう、よろじょう……ひゃうっ♡

あっ、おいっ！なに人の尻を勝手に触ってるんだっ！

「お○ん○んき」くっくわてるお礼に、

お尻を撫でてあげまじょうっ」って、そんなお礼いらんわっ！

♡やっ♡♡

くっくわてるお礼に

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

なで  
なで

「あゝさっきの放熱ビツクリしたな、少し火傷したかも」

ぐっっ……ひっ、卑怯だぞ、お前っ！

むっっっ……そう、そのお礼、ありがたく頂戴します

……あとで覚えてるよ

そっちがその気なら、俺だってもう容赦はしないぜ？

【右腕出力、上限ラニニパーセントニ設定】

この力とスピードでしごかれたら、ひとたまりもないだろう♡

はあ♡♡

ズチュ  
ズチュ  
ズチュ

ブル  
ブル  
ブル

サ  
サ  
サ

ほれほれ、俺の尻なんて触ってる余裕あるのかなあ？

ビクビクってお〇ん〇ん、凄い痙攣してるぞっ♡

はあっ♡ もうイッちゃいそうなんだろ？



よいしょう、うんしょう……それ、それそれっ♡  
おっ……イくのか？いいぞ、たくさん射精するところを  
今日もじっくり見ててやるから、いっぱい出すんだぞ♡

おっ♡

キゅん♡

ズン

ズン

出せ出せ出せっ♡俺の手コキで、思い切り射精しろっ♡

あはっ、出た出たっ♡

熱い精液、ドピュドピュ出してっ♡





「ほっ、本当にするの？ また熱が」「もったりしない？」  
大丈夫だって、さっきのは想定以上の情報が来たのに  
ビックリして、初期対応が遅れたただけだったのっ！  
最初から膨大な情報が来るってわかってたら、余裕だって

どんどん

グワッ

お前

キスするぞっ！！

それともなにか？ お前は俺とキスしたくないってのか？

「したいに決まってるじゃないかっ！」

おおっ、即答かよ……そのへんはブレないのな、お前

とにかく、俺が大丈夫っていつてるんだから、キスするぞっ！

いつ、「応念のために、最初は軽いキスからするぞ  
ディープなキスはちよつとだけお預けだ、わかったな？」  
よしっ！それじゃあ……チュツ、チュウツ♡



んっ♡ちゅっ、ちゅぱっ……はあっ、チュツ♡

（やっぱり凄い量の感情データが押し寄せてくる

「この感情は……幸福感というやつか

「いつとキスをして、今俺は幸せを感じているんだな」



チュツ、ちゅぱっ……はあっ、んうっ♡だっ、大丈夫だ  
っっ、次はディープキスがしたいっ……あむうっ♡  
ちゅぷっ、ぺろっ♡ぺろぺろっ、んっ、んむうっ♡  
はむうっ……はむはむっ、んあああっ♡



（わっ、わかってはいたが、本当に凄い……ディープキスは

さっきのキスの倍以上の感情データが流れてくる

充実感が強く含まれてるな……こいつに強く求められて、

心が満たされていくのを感じる……これは、ヤバいぞ♡）

れるれるるるっ、むちゅっ♡ぷはあっ♡

はあっ、ふうっ……だっ、大丈夫だ、心配するな

さつきほど熱は溜まってないから、んうっ……問題ない

ちよっ、ちよっと休めば、溜まったデータも処理されるから

はあっ♡

ふうっ♡

ゴクッ♡

ゴクッ♡

（唇が離れた途端、強い喪失感が襲ってくる

もっとうっとうとキスしたい……求められたい、満たされたい

大切な人に愛情表現としてキスをする理由が理解できたぜ

キスでこれなら……セックスしたら、どうなっちゃうんだ？）



(セックス………「いつとセックスしたら、どうなるんだ?)

そもそも相手が「いつで、本当にいいの?」

ちよつと変なと「あるけど善人だし、色々と思もある

なにより俺の「ことを本気で好いてくれるのは、正直嬉しい

それなら、「いつに抱かれても………問題ないよな)

ゴックン

んっ♡♡♡

もっ♡♡♡  
もっ♡♡♡

なっ、なあ………まだもう少しできそうか?

お前の「褒美に色々付き合ってたんだから、

俺も「褒美、もう「つねだっても………いいよな?

おっ、俺の「と………抱いて欲しいんだけど、だめか?

「おっややく俺の想い」を伝えてくねる気になったね」

ちっ、違わなくもないけど……いつ、今はまだ違うっ！

これは……あっ、あくまで知的好奇心の探究のためだっ！

キッ、キスでこれだけ膨大な情報が得られたんだから、

セックスしたらどうなるんだろうって、気になったただけだぞっ！



「俺とセックスしてもいいって、思ってくれただけでも嬉しいよ」

むっ……本当に何でも前向きに受け止めるやつだなあ

まっ、まあそういうわけだから……優しくしろよな？

あと、さり気なく尻を撫で回すの、やめろっこの

「ぶっやぐ俺の想い」に添えてくれる気になったんだね」

ちっ、違わなくもないけど……いつ、今はまだ違うっ！

これは……あっ、あくまで知的好奇心の探究のためだっ！

キッ、キスでこれだけ膨大な情報が得られたんだから、

セックスしたらどうなるんだろうって、気になったただけだぞっ！

せうっ

キミ♡

キミ♡

なで

なで

ギョ

「俺とセックスしてもいいって、思ってくれただけでも嬉しいよ」

むっ……本当に何でも前向きに受け止めるやつだなあ

まっ、まあそっいうわけだから……優しくしろよな？

あと、さり気なく尻を撫で回すの、やめろっの

……本編へ続く